

令和7年度

事業計画

令和7年

◆令和7年度 事業計画書

事業計画書

I. 公益目的事業 五島美術館

1. 展示事業

1-1. 展覧会名とその概要

	日数	有料	無料	計	入園者	合計
[館蔵] 春の優品展 —THE BEST— 2025年4月8日[火]—5月6日[火・振]	26	7,300	680	7,980	440	8,420
[館蔵] 近代の日本画展 5月13日[火]—6月15日[日]	30	8,110	480	8,590	230	8,820
[平安書道研究会 900回記念特別展] 極上の仮名 —王朝貴族の教養と美意識— 6月24日[火]—8月3日[日]	36	12,450	2,100	14,550	450	15,000
[館蔵] 秋の優品展 —武士の雅遊— 9月2日[火]—10月19日[日]	42	6,150	540	6,690	230	6,920
[特別展] 古染付と祥瑞 —愛しの青— 10月28日[火]—12月7日[日]	36	10,370	1,750	12,120	380	12,500
[館蔵] 茶道具取合せ展 12月16日[火]—2026年2月11日[水・祝]	41	7,100	800	7,900	185	8,085
[館蔵] 中国の陶芸展 2月21日[土]—3月29日[日]	32	4,530	500	5,030	225	5,255
合計	243	56,010	6,850	62,860	2,140	65,000

(1) [館蔵] 春の優品展 —THE BEST—

東急の礎を築いた五島慶太(1882～1959)が半生をかけて蒐集した日本、東洋の美術品をもとに、五島美術館は1960年に開館した。5,000件を超える収蔵品から開館65周年を記念して、絵画・墨跡・陶磁器・工芸・考古など、さまざまなジャンルより選りすぐりの作品を展観する。学芸員が選ぶ代表的な作品から隠れた名品まで、多彩な五島美術館の魅力を紹介する(会期中一部展示替あり)。

特別展示予定＝国宝「源氏物語絵巻 鈴虫一・鈴虫二・夕霧・御法」

4月26日[土]—5月6日[火・振]

(2) [館蔵] 近代の日本画展

館蔵の近代日本画コレクションから、「風景表現」を中心に、橋本雅邦、小川芋銭、横山大観、川合玉堂、^{とみたけいせん}富田溪仙、小林古径、橋本関雪、^{はしもとがほう おがわうせん}安田靉彦、^{やすだゆきひこ}川端龍子など、明治から昭和にか

けての近代日本を代表する画家の作品約 40 点を選び展観。特集展示として、戦後の前衛書を牽引した書家・宇野雪村(1912～95)の没後 30 年を記念し、五島美術館所蔵の代表作を一挙公開する。

(3)[平安書道研究会 900 回記念特別展] 極上の^{かな}仮名 —王朝貴族の教養と美意識—
書家であり日本書跡の研究者であった飯島春敬(1906～96)の蒐集品をおさめた書芸文化院「春敬記念書道文庫」と五島美術館が収蔵する平安時代に書かれた仮名の名品を中心に展観。11世紀から12世紀に鑑賞や手本として尊重された仮名の書風や料紙装飾に着目し、王朝貴族の美意識を探る。あわせて春敬旧蔵の明～清時代の中国書跡や拓本を厳選して公開(会期中一部展示替あり)。

(4)[館蔵]秋の優品展 —武士の^{がゆう}雅遊—
鎌倉時代から江戸時代にわたる、和歌、漢学、書画、茶の湯など学藝に打ち込んだ武人たちの探究や武家文化の諸相を紹介。「サムライ」をキーワードに肖像画や武家が所持した名品など館蔵作品約 50 点を展観する(会期中一部展示替あり)。特集展示「蔦屋重三郎—江戸には江戸の風が吹く」として、大東急記念文庫の所蔵する洒落本や黄表紙などの江戸時代の書物も同時公開。

特別展示予定＝国宝「紫式部日記絵巻 五島本第一・二・三段」

10月11日[土]—10月19日[日]

(5)[特別展]古染付と祥瑞 —愛しの^{blue}青—
古染付と祥瑞は、17世紀前半期に中国・景德鎮民窯で焼造され、日本に将来された染付磁器。古染付は鈍い発色の青い文様が描かれた自由奔放な器。一方の祥瑞は鮮烈な青色の吉祥文様が器面を覆う華やかな器で、両者の趣は異なるが、どちらも茶陶として当時の日本人に大変好まれた。古染付が誕生しておよそ 400 年。改めて古染付、祥瑞の魅力を紹介する(会期中一部展示替あり)。

(6)[館蔵]茶道具取合せ展
展示室に当館茶室「古経楼」「松寿庵」「富士見亭」の床の間原寸模型をしつらえ、館蔵の茶道具コレクションから約 80 点を選び展示(会期中一部展示替あり)。懐石道具・炭道具のほか、江戸時代の大名茶人松平不昧(1751～1818)ゆかりの茶道具を中心に道具の取合せを展観する。特集展示として懐石道具を中心とした茶の湯の^{しつげい}漆芸を同時公開する。

(7)[館蔵]中国の陶芸展
漢時代から明・清時代にわたる館蔵の中国陶磁コレクション約 60 点を展観。古代の計量道具から、唐三彩の壺、宋時代の砧青磁、明時代の青花・五彩まで、時代順に展示し、2000 年にわたる中国のやきものの歴史を展望する。特集展示として館蔵の古鏡コレクションも同時公開。

2. 調査・研究・保存事業

(1) 美術品の調査・研究

美術品の調査・研究を継続し、新規収蔵品等を中心に調査を進める。より正確なデータベースを構築するため、デジタルアーカイブへの取組みを進める。

(2) 美術品の補修

館蔵品のうちから、特に傷みの著しいもの、出陳頻度の高いものを優先し、修理を行う。本年度は、昨年度に引き続き「小倉色紙 伝 藤原定家筆」を修復する。

紙本墨書 小倉色紙 伝 藤原定家筆 1幅 (2年計画の2年度) 2,487千円

※ 修復費用については、公益財団法人三菱財団から全額助成

(3) 美術品の保存

今後の保存対策のため、収蔵庫および展示室の環境測定を実施し、種々データを集める。また、収蔵庫内の収納棚の保存環境および利用時における安全性を見直し、より効率的な収納ができる保存環境を目指す。作品を保護するための包み裂や箱、刀剣の鞘などを順次修理し、保存・管理の安全性を向上させる。

(4) 美術品の貸出

他所の美術館・博物館への館蔵品の貸出要望に対しては、趣旨・開催期間などを十分検討し、保存上の留意をしつつ、社会教育の発展・普及の観点から貸出を許可し、出品する。

(5) 研究紀要の編纂

研究活動の成果を紀要としてまとめる。執筆者は学芸部を中心とし、資料紹介や調査報告を含めた専門性の高い論考に、美術館・文庫の活動報告を合わせた体裁とする。

3. 普及事業

(1) ギャラリートーク(展示解説)

一般入館者を対象として下記展覧会の展示品について学芸部が解説を行う。

	開催日
[館蔵] 春の優品展 —THE BEST—	4/16(水)、4/23(水)、4/30(水)、5/5(月・祝)
[館蔵] 近代の日本画展	5/15(木)、6/5(木)
[平安書道研究会 900回記念特別展] 極上の仮名 —王朝貴族の教養と美意識—	7/17(木)
[館蔵] 秋の優品展 —武士の雅遊—	9/11(木)、10/9(木)、10/15(水)、10/19(日)
[特別展] 古染付と祥瑞 —愛しの青—	11/6(木)、11/20(木)
[館蔵] 茶道具取合せ展	12/23(火)、2026年1/21(水)
[館蔵] 中国の陶芸展	2/25(水)、3/25(水)

ほかに外部専門家を招いて特別講演も実施する。

(2) 美の友会月例美術講座

美の友会会員を対象に下記のシリーズを、連続講座(各月 1～3 回)として(本年度 28 回)開催する。各回ともシリーズのテーマに即した主題を掲げ、当館の収蔵品やスライド映写をまじえてわかりやすい講座を行う。

タイトル	開催日	テーマ
古典籍鑑賞シリーズⅦ 「蔦屋重三郎版の洒落本を読む」 担当＝大東急記念文庫学芸部 長田和也	4/12(土)	『総籬』—松葉屋の内幕を覗く
	6/14(土)	『客衆肝照子』『傾城觸』—廓の人々を写す
	7/12(土)	『娼妓絹籠』『錦之裏』『仕懸文庫』—寛政三年の三部作
特別展鑑賞シリーズⅥ 「古染付と祥瑞展を楽しむために」 担当＝五島美術館学芸部 林克彦	4/19(土)	原初の古染付 染付の茶碗
	5/17(土)	古染付① 桃山時代の器物とあこがれの染付
	7/19(土)	古染付② 文様を読む
	9/20(土)	祥瑞 鮮やかな青の器
絵巻鑑賞シリーズⅣ 「絵巻の鑑賞—国宝 寝覚物語絵巻」 担当＝五島美術館学芸部 下山來夏	4/26(土)	作品紹介とあらすじ
	5/24(土)	各場面の見どころ
	6/28(土)	装飾経との親近性
染織鑑賞シリーズⅩⅤ 「伝説・物語がつむぐ染織文化」 担当＝五島美術館学芸部 佐藤留実	5/3(土)	神話と物語から始まる絹の歴史
	6/7(土)	マルコポーロが語る絹の都
	7/5(土)	織姫星とオルフェウス
	8/2(土)	大航海時代—金銀島を探していたら
	9/6(土)	オランダ東インド会社員は商いをしたい
	2/7(土)	ウィリアムモリスと古渡り更紗
書跡鑑賞シリーズⅩⅧ 「大手鑑「筆陣豪戦」の世界」 担当＝五島美術館学芸部 佐々木佑記	9/13(土)	「手鑑」の基礎知識
	10/11(土)	江戸時代の古筆鑑定と「手鑑」
	1/10(土)	「筆陣豪戦」に貼られた書の名品
古典籍鑑賞シリーズⅧ 「あの作品を古典籍で」 担当＝大東急記念文庫学芸部 木村孝太	12/20(土)	『伊勢物語』—現存最古の歌物語
	1/17(土)	『平家物語』—「無常」を描く軍記物語
	2/21(土)	『徒然草』—歴史史的側面をもつ随筆
	3/21(土)	『新古今和歌集』—8 番目の勅撰集
考古鑑賞シリーズⅣ 「考古学からみた日本やきもの史②」 担当＝五島美術館学芸部 林克彦	1/24(土)	奈良三彩 唐物へのあこがれ
	2/28(土)	かわらけ 土器を継ぐもの
	3/28(土)	六古窯 中世に花開いたやきもの

(3) 陶芸講座

美の友会会員を対象として「粘土」から「茶碗」になるまでの技術指導を行う。

・第 1 回＝2025 年 5 月 31 日[土]・6 月 1 日[日] 予定

- ・第2回=2025年9月27日[土]・28日[日] 予定
- ・第3回=2026年1月31日[土]・2月1日[日] 予定

(4) 茶の友会茶会

茶の友会会員を対象として茶会を開催し、茶会に使用する美術品について学芸部が解説する。

- ・第1回=2025年11月13日[木]—16日[日]の4日間
- ・第2回=2026年3月12日[木]—15日[日]の4日間

(5) 青少年向け普及講座

小学生や中学生を対象に、美術や日本文化への理解を深めるための各種普及講座を開設する。現在予定している講座としては以下の通り。

- ① こども美術講座「日本画を知ろう」(日程未定)
- ② 小・中学校向け出張講義(日程未定)

(6) 茶室特別公開

公開日=2025年5月22日[木](「館蔵 近代の日本画展」期間中)
2026年2月5日[木](「館蔵 茶道具取合せ展」期間中)
*入館者を対象に、通常非公開の茶室「古経楼」「富士見亭」を公開。

(7) 東急グループとの連携事業

東急グループとの連携事業を推進することにより、さまざまな機会、楽しみ方を提供し、当美術館、文庫や収蔵品に対する理解を深めてもらう。

- ① 特別鑑賞会「東急グループ感謝のつどい」開催への協力
- ② 東急グループ主催、後援の社会貢献活動(とうきゅうキッズプログラム、キネコ国際映画祭等)への協力
- ③ 東急文化村「MY Bunkamura」とのタイアップ企画の実施
- ④ 「東急ロイヤルクラブ」との連携イベントの実施
- ⑤ 東急グループ「五島美術館名品集」カレンダーの制作・監修

(8) 他館、近隣等との連携事業

展示内容の親和性が高い根津美術館、三井記念美術館との三館連携事業など他の美術館・博物館や文化施設等との連携事業、近隣の多摩美術大学、東京都市大学、また、上野毛商和会(商店会)・町会との地域活性化活動を積極的に推進する。

(9) 長野県小^{ちいさがたぐん}県郡青木村との連携事業

五島慶太の生誕地である長野県小^{ちいさがたぐん}県郡青木村に設置された「五島慶太未来創造館」との連携をさらに深める。

Ⅱ. 公益目的事業 大東急記念文庫

1. 閲覧事業

(1) 図書閲覧

文学・歴史等の学術研究を行う大学生以上の学術研究者の閲覧を対象に対応業務を行う(許可制)。

(2) 展示

・「五館連携 蔦重手引草」のタイトルのもと、蔦屋重三郎をテーマに江戸時代の印刷物を所蔵する印刷博物館、太田記念美術館、国文学研究資料館、たばこと塩の博物館と連携を図りつつ、五島美術館展示室2を使った特別展示、講演会を行う。展示の周知活動としてチラシ作成、雑誌『書物学』(勉誠社)への寄稿等を行う。

・その他、五島美術館の展示に協力するとともに、他館からの出陳の要請は検討の上、貸し出す。

2. 調査・研究・保存事業

(1) 図書調査

・収蔵の古典籍資料調査を行う。

・事業に関連する他機関収蔵品の調査を行う。

(2) 図書収集

研究・閲覧に資する参考資料(辞典、叢書、全集、記録類等)や、必要な場合は古典籍資料を購入する。

(3) 研究発表

図書調査・研究活動等に基づき、書誌学、文化史学、国文学、美術史学等の研究の成果を機関誌「かがみ」その他、学術専門誌に発表する。

(4) 図書保存

・文庫収蔵庫内の和古書と参考書誌、図書資料等との分離収納作業を継続する。

・本年度も引き続き、収蔵資料の保存状態を調査し、修理・補修リストを作成する。

・収蔵庫内の防虫、防塵、防湿、防災には万全を期し、予防策として本年もIPM(総合的有害生物管理)を実施する。新収資料の防虫には特に留意する。

・不慮の災害に備え、資料の写真撮影などの副本作りを継続的に進める。本年度も『大般若波羅蜜多経』(鎌倉中期写本)等を撮影する。

(5) 図書修理

新収蔵資料の帙箱ちつぱこの新装、未表装資料の修理・表装を行う。

(6) 出版物の編集・刊行・頒布・委託出版

- ・継続刊行中である「大東急記念文庫善本叢刊中古・中世篇」の第 30 回配本第 17 卷「美術」、第 31 回配本第 18・19 卷「古文書・名家筆蹟」の刊行準備をする。
- ・機関誌「かがみ」第 56 号を編集刊行する。
- ・収蔵品を紹介する小冊子 1 冊を新たに刊行する。
- ・既刊の講演録、影印本、マイクロフィルム等を頒布する。

(7) 普及

- ・各種団体(大学・研究会・図書館等)の要請による研究会、展示説明会等があれば、これに応じる。
- ・文庫刊行の出版物等を友好機関に寄贈する。また、友好機関、個人から受贈した出版物等は、閲覧研究に供するとともに、整理して保存する。
- ・各種団体等・個人から多数の撮影、出版、放映、翻印等の許可申請があるが、厳しく検討して許可する。

(8) 国等各種公共機関・団体、大学への協力と職員の派遣

国や各種公共団体の研究会等への参加、助言、大学への職員の派遣等、文庫の事業運営上必要と認められる対外活動を行う。

収支予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	6,198,000	3,500,000	2,698,000
基本財産受取利息	2,818,000	1,100,000	1,718,000
基本財産受取配当	3,380,000	2,400,000	980,000
特定資産運用益	1,410,000	1,000	1,409,000
特定資産受取利息	1,410,000	1,000	1,409,000
公益事業収益	124,728,000	110,681,000	14,047,000
展示事業収益	57,435,000	49,395,000	8,040,000
調査研究事業収益	14,917,000	7,340,000	7,577,000
普及事業収益	15,966,000	17,890,000	△ 1,924,000
文庫事業収益	1,000,000	1,000,000	0
カレンダー収益	22,810,000	26,956,000	△ 4,146,000
売店収益	12,600,000	8,100,000	4,500,000
受取寄付金	249,038,000	249,038,000	0
受取寄付金	180,000,000	180,000,000	0
受取寄付金振替額	69,038,000	69,038,000	0
雑収益	20,001,000	10,051,000	9,950,000
受取利息	1,000	1,000	0
雑収益	20,000,000	10,050,000	9,950,000
経常収益計	401,375,000	373,271,000	28,104,000
(2) 経常費用			
事業費	358,974,000	338,763,000	20,211,000
役員報酬	7,225,000	7,225,000	0
給料手当	83,673,000	85,780,000	△ 2,107,000
臨時雇賃金	21,777,000	17,045,000	4,732,000
退職給付費用	2,808,000	3,964,000	△ 1,156,000
福利厚生費	18,174,000	16,531,000	1,643,000
会議費	15,000	15,000	0
旅費交通費	440,000	152,000	288,000
交際費	200,000	200,000	0
通信運搬費	10,935,000	4,962,000	5,973,000
減価償却費	68,853,000	68,494,000	359,000
クラウド利用料	270,000	774,000	△ 504,000
消耗什器備品費	950,000	950,000	0
消耗品費	1,650,000	1,200,000	450,000
修繕費	7,400,000	7,316,000	84,000
修理費	3,000,000	3,000,000	0
印刷製本費	12,265,000	10,063,000	2,202,000
宣伝広告費	7,800,000	7,800,000	0
光熱水料費	10,955,000	14,293,000	△ 3,338,000
保険料	556,000	650,000	△ 94,000
諸謝金	150,000	150,000	0

科目	予算額	前年度予算額	増減
租税公課	7,800,000	7,800,000	0
庭園管理費	3,800,000	7,600,000	△ 3,800,000
委託費	16,735,000	15,860,000	875,000
展覧会費	24,822,000	17,554,000	7,268,000
催物費	10,760,000	11,865,000	△ 1,105,000
調査研究費	14,900,000	8,000,000	6,900,000
雑費	1,015,000	1,015,000	0
カレンダー制作費	12,546,000	13,781,000	△ 1,235,000
ショップ原価	7,500,000	4,724,000	2,776,000
管理費	46,497,000	38,789,000	7,708,000
役員報酬	4,816,000	4,816,000	0
給料手当	19,280,000	17,570,000	1,710,000
臨時雇賃金	2,500,000	500,000	2,000,000
退職給付費用	312,000	440,000	△ 128,000
福利厚生費	3,948,000	2,917,000	1,031,000
会議費	400,000	142,000	258,000
旅費交通費	10,000	298,000	△ 288,000
交際費	500,000	500,000	0
通信運搬費	924,000	324,000	600,000
減価償却費	3,501,000	3,605,000	△ 104,000
クラウド利用料	5,000,000	2,900,000	2,100,000
消耗什器備品費	34,000	34,000	0
消耗品費	87,000	87,000	0
修繕費	100,000	434,000	△ 334,000
印刷製本費	50,000	50,000	0
光熱水料費	645,000	753,000	△ 108,000
諸謝金	4,000,000	1,464,000	2,536,000
雑費	390,000	1,955,000	△ 1,565,000
経常費用計	405,471,000	377,552,000	27,919,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,096,000	△ 4,281,000	185,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,096,000	△ 4,281,000	185,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,096,000	△ 4,281,000	185,000
一般正味財産期首残高	587,399,089	610,957,893	△ 23,558,804
一般正味財産期末残高	583,303,089	606,676,893	△ 23,373,804
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	20,000,000	△ 20,000,000
一般正味財産への振替額	69,038,000	69,038,000	0
受取寄付金	69,038,000	69,038,000	0
当期指定正味財産増減額	△ 69,038,000	△ 49,038,000	△ 20,000,000
指定正味財産期首残高	3,747,647,505	3,431,297,533	316,349,972
指定正味財産期末残高	3,678,609,505	3,382,259,533	296,349,972
III 正味財産期末残高	4,261,912,594	3,988,936,426	272,976,168

収支予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	6,198,000	3,500,000	2,698,000
特定資産運用益	1,410,000	1,000	1,409,000
公益事業収益	124,728,000	110,681,000	14,047,000
受取寄付金	249,038,000	249,038,000	0
雑収益	20,001,000	10,051,000	9,950,000
経常収益計	401,375,000	373,271,000	28,104,000
(2) 経常費用			
事業費	358,974,000	338,763,000	20,211,000
管理費	46,497,000	38,789,000	7,708,000
経常費用計	405,471,000	377,552,000	27,919,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,096,000	△ 4,281,000	185,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,096,000	△ 4,281,000	185,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,096,000	△ 4,281,000	185,000
一般正味財産期首残高	587,399,089	610,957,893	△ 23,558,804
一般正味財産期末残高	583,303,089	606,676,893	△ 23,373,804
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	20,000,000	△ 20,000,000
一般正味財産への振替額	69,038,000	69,038,000	0
当期指定正味財産増減額	△ 69,038,000	△ 49,038,000	△ 20,000,000
指定正味財産期首残高	3,747,647,505	3,431,297,533	316,349,972
指定正味財産期末残高	3,678,609,505	3,382,259,533	296,349,972
III 正味財産期末残高	4,261,912,594	3,988,936,426	272,976,168

◆公益共通、法人関連(資金調達および設備投資の見込み)

1. 資金調達

(1) 受取寄附金

文化・芸術の発信を通じた社会貢献事業に取り組む東急株式会社からその活動の一環として寄附金の受領を見込む。

・一般寄附金としての受け入れ 180,000 千円

(2) 協賛金

展覧会 2 企画への協賛金を見込む。

・「春の優品展」「秋の優品展」協賛金 20,000 千円

2. 設備投資の見込み

(1) 一般正味財産にかかわる設備投資

菖蒲池付近近接家との境界線フェンス設置 4,000 千円

美術館本館・別館 Wi-Fi 化工事 3,500 千円

簡易画像データベース 1,000 千円

雑排水ポンプ地下ピット修理 1,000 千円

富士見亭空調機新設 1,000 千円

別館事務室天井クロス張替 467 千円

源氏物語絵巻中性紙紙箱 220 千円

折り畳み作業台 180 千円

デザイン作成ソフト 150 千円

合計 11,517 千円

(2) 指定正味財産にかかわる設備投資・修繕工事

本館・別館空冷式モジュールチラー改修工事 31,660 千円

古経楼・富士見亭路地改修工事 6,000 千円

崖地安全柵設置 3,800 千円

瓢箪池周辺目隠造作 3,630 千円

庭園傾斜部通路補修工事他 3,220 千円

本館中庭周辺整備 2,500 千円

会長室、昇陽殿周辺整備 1,960 千円

つつじ大刈込 1,630 千円

見晴荘周辺竹柵・生垣整備 1,290 千円

合計 55,690 千円

以上